

広報かどま8（2026）年1月号

除菌グッズが原因で火事？消毒用アルコールに注意！

コロナ禍以降、除菌シートや消毒用アルコールスプレーなど、ウィルス対策用の商品を使うことが、日常生活の中で定着してきました。特に乾燥する今の季節はインフルエンザや新型コロナへの感染予防で購入する方も多いと多いと思われます。消毒用アルコールは、除菌グッズとして一般的に広く販売されているため安全なものだと考えがちですが、消毒用アルコールは濃度が高く、市販の消毒用スプレーを火気の近くで噴霧したことによる火災事故も発生しています。アルコール濃度が高い（70～95%）方がウィルス対策には有効とされていますが、濃度の高い消毒用アルコールは引火しやすく、濃度60%以上の物は消防法上の危険物にあたり、取り扱いには十分な注意が必要です。うっかり火のそばで使用してしまうと、やけどや火災などの大事故につながる可能性があるので、使用する際は、アルコール濃度を確認し、取り扱い説明をよく読んで安全な場所で正しく使用しましょう。

問合先

門真市消費生活センター

06-6902-7249